

海とのふれあい広場

避難マニュアルの不備を指摘

広大なバーベキュー場やドッグラン、海釣りテラスのある堺浜「海とのふれあい広場」。現場でふと津波警報発令時の避難について管理員に訊ねると、津波から東へ(水平方向に)逃げる水平避難を促すのだと。堺に津波が襲来するまで約90分の時間的余裕があるため、市街地では水平避難が基本。しかし、臨海部の同広場から津波浸水想定地域を出るまで6km以上あり、**徒歩避難には遠すぎます**。一方、周辺道路は一車線で普段も渋滞しがち。**車避難は危険**です。似たようなロケーションの「Jグリーン堺」や「みなと堺グリーンひろば」のマニュアルを確認すると、小高い丘や近隣の津波避難ビルへ誘導する**垂直避難**。ここだけ水平避難っておかしくないか？ 私の指摘

議会に現場に あなたののもとに



を受けて、当局は同広場の避難マニュアルも垂直避難に変更。

震災前に気づいてよかった！
現場に来てよかった！



動物指導センター

市民に愛される動物愛護の拠点に

野犬の収容所だった頃の様子を色濃く残す堺市動物指導センター。老朽化し、耐震化もなされず、フェンスに囲まれ、市民が気軽に立ち寄れる施設とは言い難い。かねてより求めてきた**建て替えがようやく具体化**。早速、その見本とすべく京都市動物愛護センターを視察。公園の緑に囲まれ、多くのボランティアが活躍するこの施設には多くの学びがありました。堺の同センターも隣は広々とした東雲公園。**公園と一体化し、犬の散歩などで公園に来た人が、ついでにふらりと立ち寄り、動物と触れ合い、ペットの相談ができる、そして子どもたちが命の大事さを学べる、そんな共生の拠点を目指します。**

堺市議会議員 (堺区選出・無所属)

2024秋号

ふちがみ猛志 議会活動報告 Vol.38



- 1977年堺生まれ、堺育ち ●妻 娘14才、息子12才、9才
- 堺市立錦小学校 殿馬場中学校 三国丘高校 神戸大学法学部 卒
- 堺市議会議員(3期目) ●保護司 ●養育里親 ●好きな食べ物は餃子



【ふちがみ猛志市政相談所】

堺区新町2-4 小山電ビル2F-A1
TEL/FAX: 072-320-0103
Mail: fuchigami.info@gmail.com

相変わらずの消極的な市政運営

昨年度の決算審査の議会が終了。今回もお金を使いたがらない、永藤市長の**消極姿勢が目立ちました**。たとえば将来負担比率(財政規模に対する借金の割合)が3年連続で0以下となったこと(その場合、数字としては算定されない)。堺市の借金が非常に低い水準で、返済のために用意された財源を下回っているようになります。要するに**借金をする余裕がまだあるのにしていない状況が、3年続いている**ということです。「借金が少ないならええやん!」。いえ、違います。**借金の少なさは、投資がなされていないことと表裏一体**(下記コラム参照)。

【将来負担比率の推移】

	H25	H30	R1	R2	R3	R4	R5
堺市	27.6	20.3	9.4	5.0	-	-	-
政令市平均	139.0	97.6	91.6	86.0	72.8	67.6	未確定

※R4時点では将来負担比率が「0以下(算定されず)」は、堺市含めて政令市20市中4市。0~100%が8市、100~200%が8市。多すぎるのは問題(400%が総務省のNGライン)だが、少なすぎも問題↓。

もくじ せひ2ページ目以降もご覧ください!

- P2. 市長肝いり事業に国交省がNo!
- P3. 増える日本語指導が必要な子と増えない予算 等
- P4. 避難マニュアルを改善 / 動物指導センターを建て替え

このまちをどうしていきたいのか。どの市民サービスを拡充するのか。明確なビジョンを示し、実行していくことがリーダーには求められます。

この秋は政治に注目!

石破茂新総理が誕生。一方、野党第一党の党首は野田佳彦元総理に。両者がどんな論戦を展開するのか。国の行く末を左右する総選挙はいつなのか(記事は10月1日付)。この活動報告は10月から年内いっぱいにかけて配布予定です。その頃の政治情勢は予想もつきません。ぜひこの秋は政治に目を向けてみてください。**市民の目が政治に向くことが、政治をよくする第一歩。**

「ニュースを見てよくわからなかった」なんてことを私に質問してくださっても結構です。お待ちしております!

借金は悪ではない! その意味と少なすぎる弊害

公共施設やインフラを整備する時、自治体は**建設費を現金一括払い**できても、**あえて借金をします**。たとえば橋は何十年も使います。現金一括払いは、現在の納税者の全額負担。翌年亡くなる方や引越される方は負担だけして使えませんし、逆に翌年引越して来られる方や将来世代は、負担ゼロで何十年も使い続けられます。だから、あえて**借金(ローン)払いにし、世代間の負担を公平にします**。借金があまりに少ない状況は、公共施設やインフラの整備が停滞している証拠とも言えます。それは市民が利便性

を享受できないだけでなく、「老朽化したインフラの更新」という負担を、将来に先送りすることにもつながります。多すぎず、少なすぎず、**適度な借金をコンスタントに**。そして**公共施設やインフラの整備もコンスタントに**。それが正しい自治体経営です。



ご意見をお寄せください!

FAX: 072-320-0103

Mail: fuchigami.info@gmail.com

議員の仕事は、市民の声を市政に届けること。まずは「聞くこと」です。皆様のご意見、ご不満、お困りごと、何でもお聞かせください。政策立案に活用させていただきます。

お名前: TEL:

住所:

※匿名でも結構ですが、ご連絡先をご記入くださいましたら、必ずお返事いたします。

ふっちゃん-のつぶやき (編集後記)

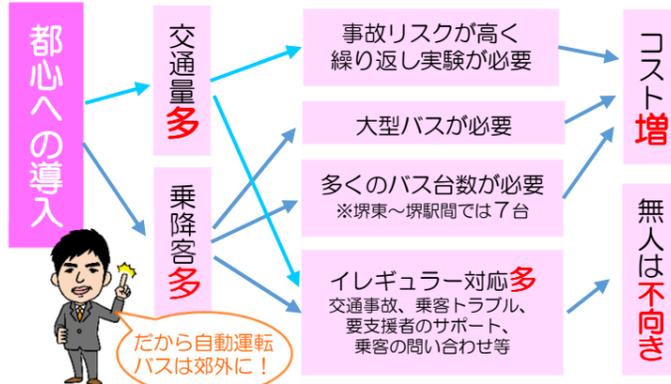
北アルプス剣岳(2999m)に登りました。その登山路で知り合いと出くわしビックリ!「オレンジの服なのでもしかして」と声を掛けられました。どこで誰が見ているかわからないプレッシャー(?)は政治家あるあるです。これまでは大和川を越えると気を抜いていましたが、いやはや。



市長肝いり事業が補助金をもらえず頓挫？

自動運転バス自体は私も賛成

永藤市長の肝入り事業、自動運転バスの導入。私は、自動運転は公共交通の維持のために必要な技術だと思います。よって事業者にとって維持が困難な路線、つまり、郊外の赤字路線に導入すべきです。一方、永藤市長は都心部の堺東駅～堺駅間への導入を目指しています。「都市ブランドの確立のため」で、それが「未来への挑戦」なのだそうです。でも都心部は郊外に比べ、導入への課題が多いのです。



国交省からもNo!

そうした議会の指摘を無視し、永藤市長は都心部への導入にこだわりました。そして今年度、国土交通省からの補助金7600万円を得て、いよいよ自動運転バスの実証実験を行うつもりだったのですが…、国交省は堺市に補助金を出さない決定を下しました。



国際交流もビジョンを持って

堺市の姉妹友好都市4都市をご存じですか？米国のパークレー、ニュージーランドのウェリントン、中国の連雲港、ベトナムのダナンです。お付き合いの長さも、都市の特色も様々。しかし、それらとの交流にあたって「将来こうなりたい」というビジョンを個々に設定していないことが、私の質疑で明らかに。たとえば、ダナンとはいつか職員を派遣し合う関係になればと、私は思っています。本市はベトナム人市民が急増しており、役所にベトナム人職員が

全国90以上もの自治体に補助金を出したのに、政令市がその選に漏れるのは異常事態です。

なぜ堺市は落選したのか

国交省は落選理由を公表していませんが、補助金の名称が物語っています。「公共交通維持確保推進事業補助金」です。「自動運転バス導入補助金」ではありません。堺東駅～堺駅間は、市内で最も便数の多い路線です。他より維持確保が容易な路線であるにも関わらず、堺市はそこに維持確保の補助金を使おうとしたのです。すでに維持困難な路線が、他にいくらでもあるのに。国交省が拒否するのも当然です。



そもそも市長のやる気は？

補助金が出ず、永藤市長は今年度の実証実験を断念。事業は1年以上遅れることに。7600万円は決して小さくありませんが、永藤市政で市民サービスを削って溜め込んだ200億円以上の基金に比べればわずかです。市長が本気でやりたければ、腹をくくって堺市のお金を出し、事業の必要性を議会と市民に堂々と訴えればよいのです。それができない程度のやる気なら、とっとと事業をやめるべきです。この事業に付き合わせられている事業者と職員が気の毒です。



日本語指導が必要な子は2倍なのに

クイズ

Q. 次の【 】の中には、「が」と「は」のどちらが入るでしょう？
昔々、あるところにおじいさんとおばあさん【 ① 】住んでいました。
ある日、おじいさん【 ② 】山へしば刈りに、おばあさん【 ③ 】川へ洗濯に行きました。そこに桃【 ④ 】どんぶらこと流れてきました。

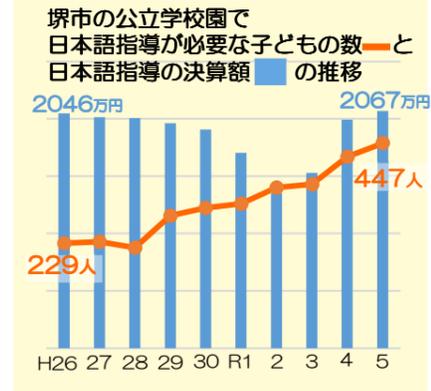


日本語指導は専門職

日本語が母語の人なら簡単なこの問題。でも「が」と「は」の違いを外国人(母語でない人)に説明できますか？他にも「用意」と「準備」の違い。「ようい、ドン」であって「じゅんぴ、ドン」でないのはなぜ？テロ等準備罪が「用意罪」なら、なんとなく気が抜けます。これを感覚で理解できても、理屈で教えるのは困難です。外国人がこれらを理解せずとも生活に支障ないでしょうが、学習においてはつまずく要因となります。こうした学習言語を指導するには専門性が必要。その専門性から、日本語教師は来年度、国家資格となります。

専門職の代わりにボランティアで？

右上のグラフの通り、堺市で日本語指導の必要な子どもの数が、この10年で約2倍。しかし、予算はほぼ横ばいです。では、どうしているのか？一昨年度から学校への専門職の派遣回数を減らす一方、ボランティアの派遣を増やして補うことになりました。その際、私は「専門職を減らすべきでない」と指摘。2年たった今、教育委員会はこのやり方について「学習言語の習得に課題がある」と認めました。言わんこっちゃない！



日本語指導は誰のため？

子どもの増加に応じて、予算をちゃんと付ける。専門的な指導をする。それに尽きます。日本語教育はその子のためだけでなく、「我が国に対する諸外国の理解と関心を深める上で重要」です(日本語教育推進法第1条)。広い視野を持ちつつ、世界に目を向けつつ、目の前の子どもの課題に取り組みたいと思います。私の指摘に当局は「さらなる予算が必要」と認め、予算確保に取り組む旨を約束しました。

医療的ケア児の保育

健康児は57日目から保育所の利用が可能だが、医療的ケア児は1歳児クラスから。身体の状態が安定しないとリスクがあるからです。一見、当然の理由ですが「1歳児クラス」とは4月1日時点で満1歳の子どもたちのこと。すぐに2歳になる4月生まれの子から、1歳になりたての3月生まれの子までいて、身体の状態もずいぶん違います。公平性の観点から「『満1歳から』にし、年度途中の入園を認めるべき」と指摘。当局は素直に認め、規定の改正を約束しました。



コロナワクチンは任意

「新型コロナワクチンに副反応があると分かっていたら打たなかった」。健康被害にあわれた方の言葉です。当時は「接種は義務」かのような空気でした。堺市では55人の方が健康被害救済制度に申請していますが、被害全体の一部であろうと堺市当局は認識しています。10月から新型コロナワクチンが定期接種となりますが、あくまでも任意です。メリット・デメリットを市民が確認し、接種について自ら判断できるよう、定期接種に関するホームページに、任意であることと、副反応情報を分かりやすく掲載することを求め、当局はそれに応じました。

